第 10 回　高大連携協議会（機械系）議事録

日時：平成 26 年 11 月 28 日（金）15:00～17:00	会場：宮崎大学　機械会議室　C421

出席者：＜工業高校＞
中原　正樹（佐土原　校長），岩崎　栄一（延岡工業），長友　郁夫（日向工業），
米良　久邦（佐土原，連絡係），佐々木　俊和（宮崎工業），高妻　智仁（小林秀峰），
本田　隆則（都城工業），松元　輝夫（日南振徳），久永　昭宏（宮崎工業，事務局）
＜宮崎大学＞
鄧　鋼（学科長），岡部　匡，河村　隆介，各務　聡，盆子原　康博，友松　重樹，
長瀬　慶紀　（順不同）

進行：長瀬 慶紀（宮崎大学）	記録：長瀬 慶紀（宮崎大学）

協　議　内　容	担当
１．開会行事	長瀬
（１）開催側代表挨拶（宮崎大学 機械設計システム工学科　学科長　鄧　鋼）	
（２）大学側代表挨拶（佐土原高校　校長　中原　正樹）	
（３）自己紹介	
（４）前回議事録の確認	
２．協議事項	
（１）大学側状況報告	鄧
330（サンサンマル）記念事業，大学院修士課程の改組，地域への貢献（学びなおし塾に関連）についての報告があった．	
（２）高校側状況報告	中原
ものづくりコンテスト宮崎県大会，ジャパンマイコンラリー九州大会，宮崎県産業教育フェア等の本年度開催された事業，SSH への対応，進路状況の報告があった．	
（３）今後の高大連携について	
①デザイン課題に関する授業の相互乗り入れについて	鄧
各高校から課題研究の実施状況についての説明があった．授業の相互乗り入れについては，実施できる期間が短いことや各校の課題研究のテーマとして採用しづらいことの問題があげられた．来年度も 4 月頃にテーマを発表し，実施可能な高校が参加することとした．	
②高校でのインターンシップについて	
宮崎県が実施しているスクールトライアル（5 日間）を利用することとした，	
③大学の研究室でのインターンシップについて	
大学の研究室でのインターンシップ（10 月に 3 日間）を実施することを検討した．高校生から希望があれば，7 月頃に大学へ連絡することとした．	
④学びなおし塾について	鄧
地域貢献のため，社会人向けに専門の講義を行う学びなおし塾についての説明があり，高校教員へ非常勤講師の協力依頼があった．	
（４）その他	
ものづくり教育に関して意見交換を行った．また，大学側から講義内容や学生の状況が紹介された．	
以上	

＜敬称略＞

協議会の趣旨（2006.10.26.第 1 回高大連携協議会（機械系）にて趣旨説明あり）
・高校と大学の専門分野（機械系）のカリキュラムについて，相互理解を深める．
・教育プログラム全体にわたり連携して，教育目標の実現に資する．
・これらを通して，中等・高等教育に対する地域社会の期待に応える．